

令和5年度第2回半田市児童館運営委員会議事録

開催日時	令和6年1月31日(水)	10時から11時50分まで
開催場所	半田市役所3階 会議室303, 304	
会議次第	1. あいさつ 2. 議題 (1) 令和5年度児童館年間事業報告について [資料1] (2) 「小学校児童放課後等居場所づくり事業」について [資料2] (3) その他	
出席委員 (欠席委員)	【出席委員】 和田 さとみ、石川 正喜、山本 宏巳、村田 いづみ、間瀬 さとみ、中井 朋子、徳山 香代、百田 昌弘、杉江 正憲、渥美 隆、近藤 孝子 【欠席委員】 加藤 智子、荘司 京子、加藤 金吉	
事務局	子ども未来部長 伊藤 奈美 子ども育成課 主査 瀧田 裕樹 子ども育成課 事務員 石原 未唯	子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課 主事 服部 晃良
児童センター 館長	成岩児童センター館長 大嶽 浩幸 半田児童センター館長 近藤 正勝 板山ふれあいセンター館長 都築 佳子 有脇児童館館長 神戸 伸公	亀崎児童センター館長 間瀬 浩平 乙川児童センター館長 間瀬 直人 青山児童センター館長 眞鍋 昭二
次第	議 事 概 要	
	○子ども未来部長あいさつ	
議題(1) 令和5年度児童館 年間事業報告につ いて [資料1]	～資料1に基づいて、各児童センター・児童館の館長から説明～ (委員長) この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。 (委員) 亀崎児童センターで開催した「パフェを作って食べよう」について、工夫した点や苦労した点はありませんか。 (亀崎児童センター館長) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、感染症リスクを考え、作る際には必ずマスクを着用してもらい、食べるときはできるだけ分散をしてもらいました。最近、食べる際になるべく会話をしないようお願いをしつつ、同じテーブルで食べてもらうようにしています。また、パフェ作りに使用するコップについて、ゴミを減らすために紙コップではなく再利用できるプラスチック	

	<p>クのものを使用しました。想定していた人数より多くの参加があったため、材料の買い出しが大変でした。</p> <p>(委員)</p> <p>ありがとうございます。もう一点、事前予約なしで実施されたということですが、参加者が想定外に多かったのは、予約制ではなかったことも影響しているのでしょうか。</p> <p>(亀崎児童センター館長)</p> <p>それもあるかと思います。加えて、5類に移行して最初の飲食行事であったことも要因かと思えます。できるだけたくさんの人に来てもらいたいと思い、もう一度児童センターに遊びに来てほしいという意味も込めて、事前予約なしで行いました。</p>
<p>議題(2) 「小学校児童放課後等居場所づくり事業」について [資料2]</p>	<p>～資料2に基づいて、事務局から説明～</p> <p>(委員長)</p> <p>この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>(委員)</p> <p>児童センターが担ってきた機能が、小学校の短い時間の中で実施できるのかということが心配です。亀崎には昔から、子どもたちのために地域の皆で協力するという絆のようなものがあるのですが、そういったものはどこへ行ってしまうのか、今までの協力体制が続けられるのかというのが懸念であります。今後他の地域もこのようになっていくと思いますが、たくさんの人たちが児童センターで長い間子どもたちを見てきたので、無くなってしまふというのはやはり残念に思います。</p> <p>(子ども育成課長)</p> <p>地域で子どもたちに関わってくださっている多くの方々が、継続して関わっていただける方法を考えていかなければいけないと思っております。これまでとは時間も形も変わってしまう中で、今あるものを活かし、子どもたちと地域の方が一緒に過ごすことができる場所を作るために、まずは市の考えているイメージを地域の皆様にお伝えし、ご意見をいただきながら調整をまいりたいと考えております。</p> <p>(委員)</p> <p>ぜひよろしくをお願いします。</p> <p>(委員)</p> <p>働いてるお母さんたちからすればプラスだと思いますが、地域交流の場などの、この事業によって失われる部分をまずは補完しなければならないと思います。例えば、不登校の子どもが学校に</p>

は行けないが、児童センターには行けるということもあると思いますし、このままだと居場所が減ったように感じます。

(子ども育成課長)

まずは多くの子どもたちが学校の中で過ごせる環境を先に確保して、その上で地域の方と子どもたちが繋がっていく部分を最大限残せる方法を、ご意見を伺いながら考えていきたいと思っております。

(子ども未来部長)

地域の方々にご活躍いただく場所も、学校の中という形になります。多くの子どもたちが参加するイベントなどを学校の中で実施し、そこに関わっていただきたいと思っています。毎日児童センターで実施しているような工作などについても、色々な部屋を使わせていただきながら実施していきたいと考えています。

現在、半田市では学校を含め地域の施設の老朽化が進んでいます。その中で公民館については、可能であれば学校の敷地内に地域の交流施設を作りたいという方向性であり、小学校施設が地域の核となるような形で進めさせていただいております。

この居場所については、現在放課後児童クラブを実施している事業所に主体で運営をお願いしますが、「ひろば」の運営については、地域の方がご都合の良いときに加わっていただけるような形を取り入れられるように調整をさせていただいております。

まだ始まっていない事業なので、ご心配がたくさんあるかと思いますが、今後もこのようにご意見を伺いながら、よりよい事業にしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

放課後ひろばの時間設定について、利用者は個人で帰宅するのでしょうか。1年生、2年生の子が暗い時間に帰宅するというのは、事件・事故等が心配です。

(子ども未来部長)

現時点では、放課後ひろばに参加した子どもたちは好きな時間に個別で帰るのではなく、方面別で帰っていただく想定をしております。高学年にグループをまとめてもらうような形です。

(委員)

ありがとうございます。

(委員)

この事業のような、小学校の中に児童センター機能を併設しつつ、地域の方も学校に入るようなモデルはあるのでしょうか。

(子ども育成課長)

この事業のモデルは全国各地にあります。先行して実施しているようなところでも、地域の方を取り込んでいくという部分については課題となっています。学校と地域活動の棲み分けや責任問題、ルール作りについては、学校や地域の方と相談しながら、利用者にとって良い形となるよう考えていきます。

(子ども未来部長)

学校の方としては、授業が終わって子どもたちが昇降口から出た段階でセキュリティ的に区切りをつけて、それ以降の時間については、この事業の委託先が主となるというような形で考えております。実際に、現在板山小学校では学童を普通教室の中に入れていただいておりますが、セキュリティ対策として昇降口を出る時点で学校と学童の区切りをつけています。ただ、やはり地域の方に入ってもらえるようにすることで、例えば悪意を持った方が入ってきたらというようなご心配もあると思います。そういった部分については人の配置等により対策を考えていきたいと思っております。

(副委員長)

低学年の授業が終わった時点では高学年はまだ授業中なので、その中に地域の人たちが入ってくるというのは危ない部分が多いと思います。

(子ども未来部長)

限られた場所で実施するので、その場所を主で見守っていただきます。また、専用で使わせていただくところと共用で使わせていただくところがあるので、セキュリティ対策をしながら、いろんな方に見守っていただけるような体制を作っていきたいと思っております。

(委員)

人材というのは、どのように考えていますか。

(子ども未来部長)

学童の事業所に委託をするので、その中からリーダーや核となる人に来ていただきます。

(委員長)

放課後子ども教室は、無くなるということでよろしいでしょうか。

(子ども未来部長)

現在本市の放課後子ども教室事業は、1, 2年生だけを対象とした定員制という特徴的な形で実施していますが、他の自治体では誰でも参加できるという形態のところもあります。今後本市もそういった形を取れるように、コーディネーター的な負担かかる仕事をできるだけ減らして、スタッフとしてご参加いただいている方々には「ひろば」に来ていただき、ご活躍いただきたいと考えています。

(副委員長)

今までのコーディネーター部分は誰が担うのですか。

(子ども未来部長)

事業所の方に担っていただきます。放課後子ども教室のコーディネーターは、学校によってなり手がいるところ、いないところがあります。例えば、コーディネーターの方が今後も続けていただけるということであれば、力をお借りしながら事業を実施していくということもできるので、全学校を同じルールにするのではなく、それぞれの状況に応じて方法を考えていきたいと思っています。

(委員長)

令和7年度には、横川小学校でこの事業がスタートするということですね。

(子ども未来部長)

はい。ただ、横川小学校の場合は少し特殊で、亀崎小学校のように学校の更新のタイミングというわけではないので、放課後児童クラブの全てをすぐに学校内に入れられないため、一部を入れてスタートをすることになります。学校の更新に合わせると本当に長い時間がかかってしまうため、学校と相談し、やりようがあるのであれば、更新を待たずに入っていきたいと思っています。

(委員)

成岩小学校は、既に校内に放課後児童クラブがあり、今後公民館ができる予定です。先日公民館をどういった施設にしたいかについての話し合いがあり、その中で子どもたちの居場所という意見が出ていましたが、これからできる公民館に入っていくような予定はあるのでしょうか。

(子ども未来部長)

現時点では、公民館を作る際に子どもの居場所を一緒に作っていただくということは考えていません。

(委員)

	<p>居場所づくり事業を前提とした公民館の設計はお願いできないのでしょうか。</p> <p>(子ども未来部長)</p> <p>今後、公民館で子どもの居場所づくり事業を合わせてやりたいというなお話があれば、お願いをさせていただきたいと思いますし、どうしていくかは学校、公民館と調整をさせていただくことになるかと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>この事業を公民館とも協力して実施していくことによって、児童センターの機能が補完され、世代間の居場所作りとなるように感じます。公民館の計画と密に連携をして進めていく必要があるのではないかと思います。</p>
<p>議題（３）その他 [資料３]</p>	<p>(事務局)</p> <p>事務局から、１点報告します。</p> <p>児童センターの施設整備等に関し、皆様にご活動いただいた任期である令和４年度、５年度で各児童センターがどのように変わったかについてご紹介します。</p> <p>～資料３に基づいて、事務局から説明～</p> <p>資料に掲載したものの他にも、改善したところや寄附金を活用させていただき導入した遊具等がございます。引き続き、利用者の目線を大事にしながら、よりよい環境整備を行ってまいりたいと思います。</p> <p>(委員長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>室内にいろいろな遊具等が導入されて、子どもたちはとても嬉しいと思います。また、外の遊具についても、何か増えると良いのかなと思います。</p> <p>～運営委員の皆様一言ずつご発言をいただく～</p> <p>(委員)</p> <p>いずれは成岩児童センターも廃止の方向ということを知り、少し複雑な気持ちではありますが、新しい形で子どもの居場所が生まれることに対してとても期待していますし、力になりたいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>児童センターから小学校へ、子どもたちにとって良い形で上手に引っ越しができるといいと思い</p>

ます。

(委員)

小学校児童放課後等居場所づくり事業について、児童センター機能が新しい小学校へと移転されると、乳幼児の子たちの利用について問題が出てくると思います。その部分をどのように対処するのかというところが課題になるのかなと思いました。また、出席確認の方法も課題だと思います。よくテレビなどで、保育園や幼稚園が連絡なしで休む人に対して、園側が確認連絡をしないことがあると報道されていました。そのようなことはあってはいけないと思っていましたが、保育士の方から毎日何件も連絡なしで休むという話を聞いて、起きてしまうことなのだと考え方が変わりました。たくさん子どもたちが集まる場所は、出席確認をすることだけでも職員が疲弊してしまうのではないかと思います。

(委員)

今までは中学校区に一つの児童センターということで、小学校単位では常に不公平感があつたのではないかと思います。この居場所づくり事業が早く半田市内全ての小学校へ実施されることを希望しています。地域の人たちの協力についてもどのように実施していくのか、これから楽しみにしています。

(委員)

児童センターの職員の方がこれまで築き上げてきた行事などが継続できるとよいと思います。たくさん地域の人たちが持っている力や繋がりを考えながら、今後の計画の方よろしく願います。

(委員)

順次、児童館が廃止されることを知ってとても残念に思いましたが、また新しく小学校に子どもたちが滞在できる居場所の計画を進めているということで、どうなるのかわかりませんが、期待したいなと思いました。

(委員)

施設の老朽化や少子化などいろいろな問題がある中で必要な変化だと思うので、良いものがなくなってしまうないように、より発展的に考えられるようにしていければよいと思います。今後は地域の小学生を地域の人たちが見られるという、新しいあり方をもっと具体的にしていつつ、セキュリティの部分では信頼関係の中で子どもたちを見守っていく必要があるかなと思うので、ぜひ公民館、小学校、子どもの居場所が連携して地域の子どものたちを育てていける体制ができると良いと思います。また、そういったビジョンが早く作られて、そのビジョンを理解できる人が適材適所で配置されることを祈っていますし、協力できるところは協力していきたいです。

	<p>(委員)</p> <p>児童センターの年間事業報告につきまして、今年は去年よりもいろんな種目や活動が増えていと思います。これからも各児童センターで交流をしていただき、良い種目等があれば取り入れていただいて、今以上に児童センターの活動が活発になるように努めていただきたいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>有脇児童館は、有脇小学校のすぐ近くにある上に、公民館と児童館が一つの建物にあるということで、三世代交流がとてもスムーズに、うまく機能していると思います。今後児童センター機能が小学校単位でできるという話を聞いて、他の地域も有脇のようになるといいなと思いました。これからも異世代交流が深まるように、お手伝いしていきたいと思います。</p> <p>(副委員長)</p> <p>児童センターでやっているいろんな行事が、やはり多少は無くなってしまおうと思うので、それが寂しく思います。放課後ひろばと放課後児童クラブが、上手に学校の中に入り込めればいいなというのと、放課後ひろばの運営についてはボランティアの方の負担にならないように、ある程度は市の方が入っていくといいのかなと思いました。また関わっていきたくて、協力していきたいと思っています。</p> <p>(委員長)</p> <p>委員の皆様になお話を伺いましたので、また事務局の方でよく考えていただきたいと思います。</p> <p>以上で議事を終了いたします。事務局へお返しますので、よろしくお願いします。</p>
閉会	<p>長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。これもちまして、第2回児童館運営委員会を閉会いたします。皆様には引き続き、各館の運営について忌憚のないご意見をいただきたいと思います。よりよい児童センターのあり方を考えていきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いします。なお、本日が今年度最後の児童館運営委員会となります。1年間ありがとうございました。</p>
<p>(終了)</p>	